

人と企業、求職と採用をつなぐ—

びんご経済レポート

2025
9/20
No.2286
(本体価格 546円)
600yen

株式会社内海機械
代表取締役社長

内海 和浩さん

この【人】に聞く

「ぶっちぎりの超短納期」の拠点
スマート新工場も稼働

PICK UP

本瓦造船が旅客フェリー「みせん丸」の進水式
26日に尾道市役所で企業と求職者集め「ジョブサーチ」開催
尾道の法光寺がサトリエと連携しお寺葬を提案
野村乳業が米粉を活用し乳酸菌飲料を開発





内海 和浩 (うつみ かずひろ)

府中市出身。帝京大学を卒業し、東京証券㈱に入社した。その後、㈱内海機械に入社。木工機から工作機械への事業転換を進め、2007年に同社社長に就任した。その後も補助金や産学連携などを積極的に活用し、設備投資やシステム導入を進め、業務の効率化と「超短納期」を実現した。趣味はドライブ、音楽鑑賞・読書。

株式会社内海機械

所在地:府中市鵜飼町743-1
創業:1949年4月1日
資本金:4980万円
TEL:0847-45-6300
HP:https://www.utsumi-kikai.co.jp
事業内容:金属加工部品製造

在が複数工程の待ち時間を削減し、柔軟かつ迅速な対応を可能にしています。

見える化でロス削減

機械の稼働率を上げるために、複数台の機械をLANでつないだIoTシステムを導入し、工場全体をネットワーク化しました。稼働状況をディスプレイで一目で把握でき、どの機械がどの程度稼働しているか、どこで段取りロスが発生しているかを即座に確認できるようになりました。

さらに、この仕組みを発展させるかたちで府中市、府中商工会議所、近畿大学との産学官連携に取り組み、「段取りロス状況の見える化」システムを共同開発。AIによるデータ分析で段取り時間の最適化を実現し、生産効率の改善ポイントを明確化しました。その結果、売上高は2年で1・75倍に伸びる成果につながりました。

こうした体制によって、顧客が必要とする部品をわずか2〜3日で納品できるスピードを実現。

総工費3億円かけ新工場を稼働

2025年7月、総工費3億円を投じた新工場

「ぶっちぎりの超短納期」のキャッチコピーを登録商標化し、当社の最大の強みとして打ち出しています。

しかし、私たちが目指しているのは単なる速さの競争ではありません。切削や焼き入れ、研磨など複数の工程を伴う難易度の高い部品を、他社が数週間かかるところを数日で提供できる高付加価値と短納期の両立こそ、当社ならではの価値だと自負しています。

テレビ番組「そくだったのかパニー」にも出演し、全国から見学者が訪れる工場へと成長しました。お客さまから直接感謝の言葉をいただけるようになったことが、社員一人ひとりの達成感や誇りにつながっています。その積み重ねが社内の活気を生み、さらに前向きな取り組みへとつながる、そんな良い循環が生まれています。

が稼働しました。敷地面積は1080㎡、建屋は鉄骨平屋建てで床面積420㎡の規模です。内部にはヤマザキマザック製の立形マシニングセンター「VTC-530/20」を導入し、既存設備では対応できなかった最長2mまでの長尺品加工が可能になりました。さらに、年明けには複合旋盤加工機を1基導入する計画です。

さらに事務所にはAIスピーカーを導入。社員全体の働きやすさをより向上させました。併せて、IoTシステムを一層発展させ、DX化やIoTの一体化、3次元測定機による品質管理を組み合わせたスマートファクトリー化を推進しています。従来掲げてきた「アナログとIoTの融合」というコンセプトをより高度に進化させ、次世代のものづくり体制を構築していきます。



長尺品加工が可能な立体マシニングセンター

この「人」に聞く

株式会社内海機械

代表取締役社長

内海 和浩さん



「ぶっちぎりの超短納期」の拠点
スマート新工場も稼働

広島県府中市に本社を構える㈱内海機械は、平均年齢32歳の若いものづくり集団。全国的にも注目を集める先進的な中小企業として知られ、圧倒的な納期の短さが最大の強みだ。

同社は、顧客が必要とする部品をわずか2〜3日で納品することを、「ぶっちぎりの超短納期」というキャッチコピーで商標登録。機械部品加工の駆け込み寺としての地位を確立した。

背景にあるのは「多能工」人材育成への、徹底したこだわり。さらに、AIとの融合による業務効率化と品質向上を推進し、継続的な改善と新たな価値創造も追求する。数々の革新的な取り組みをけん引する、内海和浩社長に話を聞いた。

無理・ムラ・無駄を減少

1949年(昭和24年)に織機メーカーとして創業したのが当社の原点です。その後、木工機メーカー、工作機械メーカーへと業態転換を繰り返してきました。三度の転換を経て、常に新しい価値を生み出す「変革のDNA」が当社に根付きました。

2007年に社長に就任した当時、当社はどこにでもある古い町工場でした。工場内は整理整頓が行き届かず、どこに何があるのかも分からない状態で、一つひとつの作業に時間がかかっていたのです。私はこの現状を嘆くのではなく、変革の好機と捉え、まず5Sに着手しました。整理・整頓・清掃・清潔、習慣を徹底し、さらに3定(定品・定位置・定量)、見える化、からくり改善、16大口削減とい

多能工人材の育成

人材育成においても当社は独自の方針を貫いています。採用は新卒のみとし、面接では「何でもこなすマルチ技術者を求めている」と明確に伝えています。入社から10年かけて全ての機械を習得させ、多能工を前提とした育成を行っています。現在では国家技能士1級を取得した社員が3人おり、累計130種の資格を10人が取得しました。技術だけでなく理念や文化を身につけた真のプロフェッショナルを育てており、この多能工の存



2025年7月に稼働した新工場